

本のぼけっと

3・4年生に
おすすめする本

発行：市川市中央図書館

昆虫の体重測定

よしたにあきのり 吉谷昭憲／文・絵
ふくいんかんしよてん 福音館書店



重さなんか感じない
小さな生き物にも当然
重さはあります。昆虫の
研究者である作者は、
1万分の1gからはかれる
「電子天びん」を使って、
昆虫たちの体重を調べて
いきます。するとテントウムシは切手一枚と
同じ重さでした。虫の体重は種類によって
ちがいます。また同じ種類でもオス・メスに
よるちがいがあり、1匹1匹でもちがうことが
わかりました。

本屋さんのルビねこ

のなかひいらぎ 野中 柊／作
まつもとけいこ 松本圭以子／絵
りろんしや 理論社



ある日、本屋の棚の上に積もった
ほり子が子ねこになりました。
子ねこは店主のモシモさんから
ルビという名前をつけてもらい
ます。ルビというのは活字の
サイズの呼び名のことで

ねずみにまちがえられたり、魚屋のねこの
チップスと海に出かけたり、ルビの毎日
はおもしろいことがいっぱいです。そんなルビの
夢はお店の看板ねこになることでした。

続編『ルビとしっぽの秘密 本屋さんの
ルビねこ』もあります。

しずく的首飾り

くびかざ くのくまようこ 猪熊葉子／訳
いわなみしよてん 岩波書店



あるあらしの夜、ジョーンズさんは
ヒイラギの木にひっかかっていた北風を
たすけてあげました。すると、北風はお礼に、
ジョーンズさんの赤ちゃんをローラと名付け、
〈しずく的首飾り〉をプレゼントしてくれ
ます。ローラはその首飾りのおかげで、雨に
ぬれず、広い海を泳ぎわたる
こともできました。

そのほかにも空をとぶ
アップル・パイなどの、ふしぎな
お話がたくさんはいています。



オレはどうくつ探検家

よしたかつじ 吉田勝次／著
たんけんか 探検家 ポプラ社



どうくつ探検に出発だ。どうくつ探検は
1日じゃ終わらない。ロープを使ってのぼり
おりしたり、水にもぐって、手さぐりで進む。
どうくつの中でご飯を食べたり、眠ったり、
おしっこやうんちもする。せまい通路を
はっていき、どろを掘って進む。
がんばっても先に進めない
こともある。でも、たまに
ごほうびで素敵な鍾乳石が
まっている。だからどうくつ
探検はやめられない。



ハートウッドホテル1

ねずみのモナと秘密のドア
ケイリー・ジョージ/作 久保陽子/訳
高橋和枝/絵 童心社



ひとりでくらしていたネズミのモナは、ある嵐の日、川に落ち、森の奥深くまで流されました。

たどりついた巨大な木には小さなハートが彫ってあります。それを押すとドアがひらき、中は明るくあたたかい、ひろびろとした部屋

でした。そこはハートウッドホテルだったのです。アナグマのオーナー、ハートウッドさんとお話をしたモナは、ホテルの仕事を手伝えば、泊まってもいいことになりました。

このシリーズは、ほかに3さつあります。

減っているってほんと！？

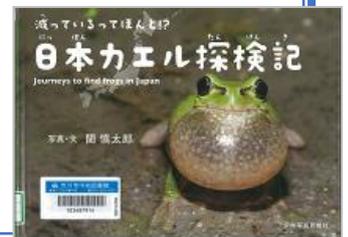
日本カエル探検記



関慎太郎/写真・文 少年写真新聞社

日本にカエルって何種類くらいいるか知ってますか？ウシガエル、ツチガエル、モリアオガエルなどなんと48種類。ぼくはカエルを写真に撮りながら、日本列島を探検しているとすっかりカエルのとりこになりました。しかし、多くの種類のカエルが環境の変化で絶滅に近い状態にあります。

カエルの生き方や、水辺環境をぼくといっしょに考えながら探検してみよう！



はらぺこゾウのうんち

藤原幸一/写真・文 借成社



ここは、南アジアの国の熱帯雨林のジャングル。ある年、長いこと雨が一滴もふらない「干ばつ」が続き、草や葉っぱが少なくなりました。おなかをすかせたゾウは、人のごみすて場でレジ袋につめこまれたごみを食べました。中には、ゾウにとって安全ではない薬やおむつなども入っています。ごみすて場のそばにはレジ袋がまざったうんちがあり、一頭のゾウが死んでいました。



秘密基地のつくりかた教えます

那須正幹/作 黒須高嶺/絵 ポプラ社

4年生の森田保は、となりのクラスの倉橋省吾に突如いっしょに帰ろうと言われる。省吾は空き地でこっそり子ネコを飼うために、家にネコがいる保に声をかけたのだ。子ネコの世話をするようになった二人は子ネコといっしょに寝るために秘密のキャンプをする。

それが楽しかった省吾と保は、夏休みに保の兄で6年生の徹とともにクヌギの林に秘密基地を作る計画をたてる。



2018年1月以降に出版されたおすすめの本です。市川市の図書館でかりることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館